

三つの同窓会に関わって — 特に香川大学教育学部の発展を祈る —

学芸・昭和 33 年卒 松内 邦夫

現在、私は同窓会と名がつく三つの会で、世話役の一員として関わっています。そこで、その三同窓会との関わりを年代の古い順から紹介します。

第一は、60 年前に卒業した地元の高等学校同窓会の役員です。年間数回の会合に出席し、時には生徒たちの式典や活動の会にも招待されることもあります。現在の母校の発展ぶりを目の当たりにし、頼もしく思い、同時に自分の高校生時代を思い出し元気をいただいています。

第二は、昭和 33 年に卒業した香川大学学芸学部の同窓会松楠会仲善支部の役員です。例年行われている 8 月の総会と、1 月の新年祝宴の会の実施にあたり、他の役員とともに成功すべく微力ながら努めています。この会には本部役員が必ずご臨席され、現在の大学の状況や松楠会本部の活動などお話をされ、出席者一同母校の発展・活躍の様子を嬉しく拝聴しています。

なお、同窓会に関わっていて、特に母校とのつながりを膚で感じることはできたのはホームカミングデーです。平成 24 年 11 月 3 日の「第 3 回ホームカミングデー」に、わが仲善支部の森江会長と一緒に出席させていただいたことです。50 数年ぶりに母校を訪問し、キャンパスツアーで学内の諸施設を見学し、予想をはるかに超えた母校の発展ぶりに驚きました。私の記憶では在学中の建築物で現在残っているのは校地の東北隅の建物 1 棟のみようで、後は全く初めて見るものばかりでした。

図書館・講義室等それぞれの施設の充実ぶりと、丁度開催中の大学祭での学生の活躍ぶりも拝見し、大学の実際に触れることができました。「今の学生諸君は恵まれているなあ」との羨望の思いと、過ぎ去ってしまった 50 年余の歳月に深い感慨を味わいました。

続いて「歓迎式典」・先生方の研究成果の「特別講演」・「懇親パーティ」。私たち卒業生をお招きください、心温まるおもてなしを受け感激の一日を過ごしました。今も思い出しては、先生方や職員の皆様、学生諸君に心から感謝しています。

第三は、平成 13 年に卒業した中央仏教学院通信教育課程の同窓会四国教区香川支部の役員です。約 90 名の同窓生で組織しており、今のところ日常生活と一番かかわりが深くなっています。会の庶務・連絡係として会合の案内作業、当日の運営に携わっています。

年間に「四国教区総会」と「香川支部会員の集い」「一日現地研修」その他の役員会などが実施されています。同窓生とともに宗学の学習を深めて、生きる拠りどころとしての信仰が根付きつつあることを実感しています。

この三同窓会は、私を 3 年ないし 4 年間、お教えくださった先生方や共に過ごした学友との思い出の詰まった会であり、現在の自分が在る原点とも言えます。80 歳を間近にして母校との絆を持ち続けられる幸せを味わっています。